



◆ 手話を考えるフォーラム終了 ◆

9月8日（土）・9日（日）の両日、市川市にある千葉商科大学で開催。

今年は6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、台風や竜巻そして、北海道地震と多くの災害に見舞われた中で約400名が参加、各分科会に分かれ「防災」について学びました。

第1分科会「ろう重複・福祉事業」

ろう重複（聴覚障害に加え、視覚・知的・精神・身体・難病など2つ以上の障害を併せ持つ障害）の意味は理解していたが、東日本大震災翌日「家にいてください」と伝えていても淋しいなどの理由で大勢来所した事例など紹介され、一人一人に寄り添った対応が必要だということがわかった。

第2分科会「サークル」

グループごとに、地図に様々な情報を書いたり、ろう者の震災時の様子を聞いたり、自助・共助について学びました。もう少し時間が欲しかった。



第3分科会「システム」

東日本大震災時の3団体の取組みや活動の様子、各市のその後の取組みや課題など意見交換が行われました。



第4分科会「医療」

中央ブロック「千葉市消防局手話クラブ」の新濱秀樹さんが助言者に。専門は「救急」で「防災は専門外だから」と事前はかなり勉強をしてくださったようです。普段なかなか知ることができないことを熱く語っていただきました。

＜新濱さん
コメント＞

初めて参加しました。みなさん熱心に聴講され、活発な質疑や手話に対する熱心さに驚きました。

手話通訳の通訳を見ていると話し手の気持ちが伝わってきました。



紙面の都合上、第2分科会グループ発表などは次号以降にお伝えしますのでお楽しみに！

ケンちゃん・レンちゃんの第2分科会おさらい！

♡ レンちゃんのポイント解説 ♡

今回のフォーラムで学んだこと

まずは**自分の命を守る**=自助(じじょ)

一緒に
確認しよう！



そのために**災害が起こる前に**できることは？

防災グッズや家具の固定も大事



ラップは用途がひろく便利



食料は？



ケガの防止など



グループで作った地図とハザードマップを比べると発見や危険なところがわかりました。自分の地域のハザードマップや避難場所を家族で確認しよう！

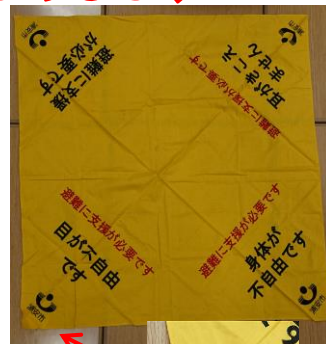
補聴器の電池っ
て意見も！



つぎに**地域・職場での助け合い**=共助(きょうじょ)



日頃のつきあいは大事。
ろう者のなかにはバンダナを
持ち歩いている人も。
(左→流山市、右→浦安市)



最後に**無理はしないで**=みんな被災者

サークル会員もろう者も通訳者もみんな被災者。
無理をして命をおとさないで！

視覚障害者用タグ

～分科会で見た動画の紹介～

パラパラ漫画動画「聴覚障がい者が災害時に困ることって？」

ユーチューブで見ることができます。

今回の放映にあたり、制作された特定非営利活動法人MAMIE（マミー）様へ、確認・許可をいただいております。講演やワークショップもあるそうです。

詳しくは MAMIE へご確認ください。 <http://mamie.jp/>

県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久